



ホテルパンアメリカーノ ブエノスアイレス「Hotel Panamericano Buenos Aires」の客室から俯瞰した「7月9日大通り」(9 de Julio Avenue)。アルゼンチンの独立記念日を名称に冠したアヴェニューで、世界最大級の道路幅を持ち、その中心に巨大なオベリスクを据えたブエノスアイレスを代表する景観である



ホテルパンアメリカーノの正面ファサード。1981年完成のサウスタワーと後に竣工したノースタワーの2棟から構成された5つ星ホテルだ。一時期インターコンチネンタルの傘下であり、93年から2005年の間「Hotel Crowne Plaza Panamericano」と称していたが、現在は運営契約を解除している



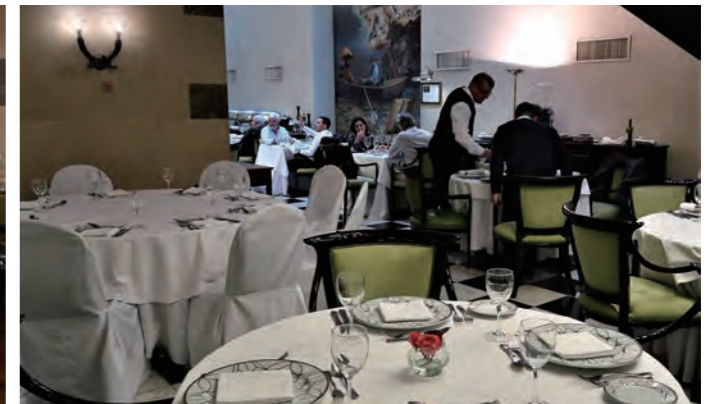
ホテルパンアメリカーノのコンシェルジュデスク



中2階回廊から俯瞰したグランドエントランスホール



レストラン「La Luciérnaga」の美しいテーブルセッティング



レストラン「La Luciérnaga」は多国籍の料理をカバーするオールデイダイニングだ



筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連協会
アドバイザリーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoterresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

Hotel Panamericano Buenos Aires

ブエノスアイレスを代表する景観と言えば独立記念日を名称に冠した「7月9日大通り」(9 de Julio Avenue)であろう。上下20車線近くもあろうか、世界最大級の道路幅を持ち、中心に巨大なオベリスクを据えたアヴェニューだ。そのオベリスクの目の前に建つのがホテルパンアメリカーノ ブエノスアイレス「Hotel Panamericano Buenos Aires」である。1981年完成のサウスタワーと後に竣工したノースタワーの2棟から構成された5つ星ホテルである。市内でも際立つ立地条件の良さから83年、軍政を排除

して当選した第49代大統領ラウル・アルフォンシンの選挙本部として抜擢されたのも頷ける。ホテルは一時期インターコンチネンタルの傘下であり、93年から2005年の間「Hotel Crowne Plaza Panamericano」と称していたが、現在は運営契約を解除している。

ブエノスアイレスは「南米のパリ」と称される。ヨーロッパの街並みを彷彿させるクラシカルな建物や教会、世界三大劇場の一つ、テアトロ・コロンのオペラ座など南米の中で最も美しい町として数えられる。ブエノスアイレスの意味はスペイン語で「buenos 良い - aires 空気、風」の意味があり、大河ラプラタ川



サウスタワー高層階にある「Upper City View Room」のベッドルーム。ベランダから俯瞰するオペリスクは圧倒的な存在感で迫ってくる



ライティングデスクからベランダ方向。約55㎡の広さを持つアーバンコンテンポラリー感覚の部屋だ



シンプル&スタイリッシュなバスルーム



スパ施設「Nivel 23 Club & Spa」上層階のスポーツジムから俯瞰したスイミングプール。ノースタワーのトップフロアにあり、トリートメントルーム、サウナ&ジムなどを擁している



オープンエアのテラスからブエノスアイレス中心部の景観を楽しむ



太陽光が降り注ぐスイミングプールは気持ちよく泳げる

に面したこの街が船乗りの望む「順風」という名前になったと言われる。アルゼンチンは何度も国家破綻を経験してきたが、アルゼンチンタンゴの優美な響き、サッカー大国としての誇りなど、街を歩いている限り負の遺産は表面上では感じられない。

ホテル パンアメリカーノはスイートを含む全362室を擁する大型グランドホテルである。今回はサウスタワー高層階にある「Upper City View Room」をご紹介したい。約55㎡の広さを持つアーバンコンテンポラリー感覚の部屋で、ベランダから望むオペリスクは圧倒的な存在感で迫ってくる。レストラン「La Luciérnaga」はあらゆるジャンルの料理をカバーするオールデイ

ダイニングだ。注目すべきはノースタワーのトップフロアにあるスパ施設「Nivel 23 Club & Spa」で、スイミングプール、サウナ&ジムを擁し、オープンエアのテラスからブエノスアイレス中心部の景観を楽しむ。

“7月9日大通り”の中心に立つオペリスクはブエノスアイレスの象徴。パンアメリカーノの卓越した立地はメディアでも高く評価され、ブエノスアイレスを紹介する写真の多くはこのホテルから撮影されたものだ。高層階の客室ベランダから俯瞰する賑やかな大通りと建都400年を記念したオペリスクの姿は、必ずやゲストに強い印象を与えることであろう。



トレーニングジムから“7月9日大通り”「9 de Julio Avenue」とオペリスクを望める



プール手前のラウンジからオペリスクと反対側にある世界三大劇場の一つ、テアトロ・コロンの景観も楽しめる